

皆様いかがお過ごしでしょうか？

日に日に暖かくなってくると、ぼちぼち衣替えをする人もいるのではないのでしょうか？
すると、ぜんぜん着ていない服や、いつか着るかも…なんて服が出てくることも。
「いつか…と考えると1年着なければ一生着ない」なんて世間で言われていても、捨てるのはもったいないですね。

そこで今回は、「不要な衣服の活用法」についてお話いたします。



【家事や寄付に役立てましょう】

まずは身近なところに活かしてみてもいいかもしれません。それでも余るなら寄付をしてみてもいいのではないでしょうか？

●活用方法その① 家事に活かす

Tシャツなど綿素材の服は、小さめに切ってストックしておけば、雑巾や油の吸い取り用、靴磨きなどに使えます。アクリルセーターなら、大きめに切って丸めれば色んな場所の磨きや網戸掃除にも役立ちます。

●活用方法その② 寄付する

全国には、海外への寄付を行っている非営利団体がいくつかあります。普段着なら洗濯済みでシミなどのないきれいな物、肌着や靴下なら新品の物を段ボールに入れて送ればOK。海外輸送費として千～2千円かかることもありますが、少しの負担で自分の洋服を世界の誰かが着てくれる。

—そう思うと、ちょっと素敵だとは思いませんか？

【リサイクルすればお小遣いにもなる!?!】

いろいろな所に持って行き、売るという方法があります。

●活用方法その③ リサイクルショップに買い取ってもらう

近所のリサイクルショップに持っていくのも良いですし、宅急便での発送を受け付けている業者を利用するのもありますね。

さらに、買い取れない服は、工業用雑巾として活用してくれる企業もあるので、チェックしてみてもいいのではないでしょうか？



●活用方法その④ フリーマーケットに出してみる

子供服を探す主婦や、中高年の女性に特に人気があるフリーマーケット(通称:フリマ)。行って買う楽しさを知っている人は多いかもしれませんが、出店もなかなか楽しいものです。物を通して、さまざまな人とふれあえますし、お友達と一緒に出店すれば初めてでも心強いはず。チャレンジしてみてもいいのではないでしょうか？

全国にはフリマの主催団体が多くあり、公園や広場で月に1、2度行われています。出店料が千～2千円ほどかかりますが、衣服だけでなく雑貨や食器など、家庭の不用品も出せてその売り上げを考えると高くはないはず。物が売れていけば気持ちも軽くなりますし、ちょっとしたお小遣いも得られて一石二鳥です。

自分にあった方法で、不要な衣服とさよならできれば、我が家も気分もすっきり!是非、参考にしてみてください。

プチ雑学 [男性と女性のプチ贅沢とは?]



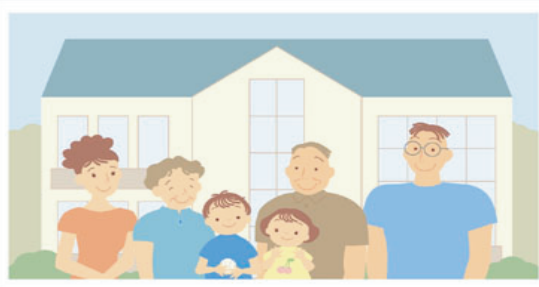
男性1位は「アルコール」

女性1位は「スイーツ」



飲料品メーカーが調べた意識調査によると、日常でちょっとした贅沢を楽しむ傾向は男性よりも女性が強く、男性のプチ贅沢の1位は「アルコール」女性の1位は「スイーツ」であることがわかりました。

20歳以上の男女にきいたところ、ときどきプチ贅沢をすると答えた人が一番多くて67.1%。内容は「デパートで高いケーキを買って食べる」といった意見がありました。ちなみに2位は男女とも「外食」でした。ちなみにどんな時にプチ贅沢をするか…。1位は、嬉しいことや楽しいことがあった時、2位がストレス、イライラが溜まった時と正反対の理由が上位を占める結果に。現在、節約志向が高まっているだけに、さまざまなシーンで「ちょっとした贅沢」をたのしんでいる様子うかがえますね。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp